

平成27年度「福井ふるさと元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果
(平成28年3月末現在)

「福井ふるさと元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成27年7月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成28年3月

会計管理者 山崎 祐美子

項 目	実 施 結 果
<p>◇適正な会計事務の執行</p> <p>○適正な会計事務の執行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計課、会計室への会計事務の集約を通じ、内部統制の強化、効率的な執行を図るとともに、事務処理の方法について適宜見直し、適正かつ的確に遂行します。 ・全出先機関を対象とした会計事務の検査を実施し、特に現金領収事務について重点的に指導します。 ・複数職員による会計処理を徹底します。 	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>会計課へ給与事務を、県内6地区にある会計室へ出納審査を集約しました。さらに、適正かつ効率的な事務処理に向け、新たなアウトソーシングや番号法への対応等について準備を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計課への給与事務の集約(東京・大阪事務所、県立学校、警察関係機関、県立病院、公営企業事業所を除く出先機関) ・各会計室へ出納審査の集約(東京・大阪事務所、農林試験研究機関、警察関係機関、県立病院、公営企業事業所を除く出先機関) <p>また、適正な会計事務の執行を確保するため、地方自治法や福井県財務規則などの法令等に基づき会計事務が的確に行われているか、検査指導を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施所属数 検査指導 118所属(全出先機関) 会計事務執行状況特別検査 13所属 <p>さらに、現金領収事務について重点的に検査指導を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金領収事務検査実施所属数 26所属 <p>加えて、複数職員による会計処理を徹底するため、所属長から次の事項について、その結果報告を求め、所属長ヒアリングも実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 月次単位での帳簿と会計書類の照合 ② 年単位での会計事務全体の自己点検
<p>◇公金の的確な管理運用</p> <p>○公金の的確な管理運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支払資金に余裕があるときは、収支計画を基に、安全かつ有利な資金運用をきめ細かに行います。 ・支払資金が一時的に不足する際は、基金など県の内部資金からの調達を優先し、金融機関からの借入れを抑制します。 	<p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>収支状況等を注視し、余裕資金をきめ細かに運用しました。また、支払資金が例年減少する時期である出納整理期間(4月、5月)においては、基金からの一時借入を優先することにより、金融機関からの借入れは行いませんでした。</p> <p style="text-align: right;">歳計現金運用利息収入 40,214千円(28年3月末現在)</p>

項目	実施結果																				
<p>◇良質な工事の確保 ○安全管理や環境等に配慮した検査の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事工程の早い段階において、安全管理・環境への配慮等について検査し、不適切な事項があれば受注者に対し改善を求めます。 ・安全で利用しやすい公共施設となるよう設計の検査段階はもとより、工事検査の段階においても設計・施工チェックを行い、不具合があれば改善を求めます。 	<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>工事施工中の早い段階で、安全管理や環境への配慮などについて重点的に検査・確認しました。 その結果、不適切な事項については文書指導により改善を求めて、工事施工の適正化を図りました。 また、設計の検査段階だけでなく工事検査の段階においても、設計・施工に関するチェックを行い、不具合な部分の改善を求めて、より利用しやすい施設となるよう努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事工程の早い段階における検査（28年3月末現在） <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">104件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち改善を求めた工事件数</td> <td style="text-align: right;">51件</td> </tr> </table> <table border="0" style="margin-left: 40px; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;"> <tr> <td style="padding-left: 10px;">平成26年度末実績</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">工事工程の早い段階における検査</td> <td style="text-align: right;">107件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち改善を求めた工事件数</td> <td style="text-align: right;">51件</td> </tr> </table> <p><改善された主な事例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事現場の安全確保のため、施工体系図の作成や工事概要看板・下請け建設業許可票を設置し、安全教育を徹底 ・工事の品質を確保するため、出来形および品質管理の項目を充実 <ul style="list-style-type: none"> ・設計に関するチェック（28年3月末現在） <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">153件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち改善を求めた工事件数</td> <td style="text-align: right;">16件</td> </tr> </table> <table border="0" style="margin-left: 40px; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;"> <tr> <td style="padding-left: 10px;">平成26年度末実績</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">設計に関するチェック</td> <td style="text-align: right;">113件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち改善を求めた工事件数</td> <td style="text-align: right;">17件</td> </tr> </table> <p><設計チェックで改善された事例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・扉同士の衝突を防止するため、ストッパーを設置 ・水道管の凍結を防止するため、水抜きバルブを取付 ・利用者の転落を防止するため、窓の解放幅を制限 		104件	うち改善を求めた工事件数	51件	平成26年度末実績		工事工程の早い段階における検査	107件	うち改善を求めた工事件数	51件		153件	うち改善を求めた工事件数	16件	平成26年度末実績		設計に関するチェック	113件	うち改善を求めた工事件数	17件
	104件																				
うち改善を求めた工事件数	51件																				
平成26年度末実績																					
工事工程の早い段階における検査	107件																				
うち改善を求めた工事件数	51件																				
	153件																				
うち改善を求めた工事件数	16件																				
平成26年度末実績																					
設計に関するチェック	113件																				
うち改善を求めた工事件数	17件																				

【実施結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要のあるもの)